

令和6年度 高原町立後川内中学校 学校関係者評価書

4段階評価 [1:改善を要する 2:やや期待を下回る 3:ほぼ期待通り 4:期待以上]

本年度の重点目標		評価の視点及び目標	学校自己評価の結果の考察・分析及び改善策等	自己評価 項目 総合	学校関係 者評価	学校関係者評価コメント			
確かに かな 学力の 育成	1	一人一人に目を 向けた少人数指 導の充実	授業が分かる・できる生 徒が85%以上	日々の授業の中で、個に応じた指導の充実を図り、個別最適な学習に取り組んだ。少人数の中で発表の機会を増 やし、活動の時間をしっかりと確保し、生徒の習熟度を常に確認し、見届けの教育の充実を図った。そのような取組 により、授業が、分かる・できる生徒は100%であった。	3.7	3.7	学習発表会に参加しましたが、生 徒一人一人の研究発表は素晴らしい かったです。 自分で考え、自分の言葉で発言で きる事、その力が育っていることは、 素晴らしいことだと思います。		
	2	主体的に学ぶ意 識の醸成	授業に積極的に取り組 んでいる生徒が85%以 上	授業の中で、活動の時間をしっかりと確保し、一人一人が課題に意欲的に取り組み、発表もしっかりと行っている。 自分の意見を述べたり、作文を書いたりするなど、アウトプットを意識した活動を充実している。また、夏季休業中には、個人の課題研究を行ったり、校則を考える会ではディベートを取り入れるなど個人やグループで解決していく機会を充実させることができた。このような取組により、授業に積極的に取り組んでいる生徒は87.5%であった。	3.7				
	3	学習指導の工夫・ 改善と授業力の 向上	町・地区・県のテストにお いて平均点以上	校内研修で、個別最適な学習と協働的な学習についての研修を行った。研修により、主体的に対話的で深い学び の実践に向けて、授業の流し方や指導の仕方について理解を深めることができた。テストについても平均をこえてお り、指導と生徒の頑張りが成果として出ている。	3.7				
豊かな 人間関 係の育成	1	基本的な生活習 慣の確立	挨拶・時間を守る・礼儀 正しく行動ができる生徒 が85%以上	日常から挨拶や返事の指導、礼儀正しく行動できるように指導を行い、日頃から落ち着いた行動ができている。また、スクールワイドPBSの取組も生徒自らが率先して実践を行ななど、自分たちで考えて行動することができており、挨拶・時間を守る・礼儀正しく行動できる生徒は100%であった。	3.8	3.7	小・中学校との連携は、しっかりと れていて、中学校の生徒の小学生 に声をかける姿は、素晴らしいと思 います。 人間関係の構築の第一歩は挨拶 だと思います。どういう状況でも自ら 進んで挨拶できる人に育っているこ とは、素晴らしいと思います。		
	2	心の教育の充実	思いやりをもって接する ことができる生徒が85% 以上	一人一人にあわせた指導を日頃から行い、温かい人間関係の醸成に努めた。教育相談も全職員で計画的に行い、 スクールカウンセラーによる講話やカウンセリングも計画的に行なうことができた。自己肯定感を高める言葉かけを行 い、様々な視点から考えることができるよう図書館教育の充実も図った。これにより思いやりをもって接することができ る生徒は100%であった。	3.8				
	3	生徒会活動の活 性化	積極的に活動に取り組 んでいる生徒が85%以 上	小・中学校合同の運動会や持久走大会等の行事や生徒総会や校則を考える会など自治的な活動の場をしっかりと 設定し、活動を行なった。また、学習発表会や立志式など事前にしっかりと指導を行い、生徒が主体となって自治的に 実行できるようにした。それにより積極的に生徒会等の活動に取り組んでいる生徒は87.5%であった。	3.5				
健やか な体の 育成	1	心身ともに健康な 体づくりの推進	心身ともに健康な生活に 気を付けている生徒が8 5%以上	学校保健委員会や保健だより、日常指導等で感染症予防や健康安全面についての指導や啓発を行なった。また、メ ディアとの正しい付き合い方についてもアンケートをもとに指導を行なった。これにより心身ともに健康な生活に気を付 けている生徒は100%であった。	3.7	3.6	お弁当日の写真を拝見しましたが、 どれも工夫されていて、おいしそうでした。 日常の指導と食育の充実でしっかりと成長しているだと思います。 SNSなど、いつでも世界中と繋がることの便利さと怖さを知っていて欲しいと思 います。 一人でスポーツを楽しむのも良いこと ですが、人と繋がって楽しむことがとても大切なことを知っておいて欲しいです。		
	2	運動に親しむ基 盤の育成	楽しく運動に取り組んで いる生徒が85%以上	生涯スポーツの考え方に基づき、体育の授業や部活動を通して、楽しく運動を行うことができた。特に、球技はとても 楽しそうに行なっている。これにより、楽しく運動に取り組んでいる生徒は100%であった。	3.7				
	3	食に関する指導 の充実	給食を楽しく食べること ができる生徒が85%以 上	弁当日の取組や給食感謝週間の取組、食育講話等で食に関する指導の充実を図った。日常の給食では、完食 に向けて生徒は一生懸命に取り組んでいる。そのため、会話は多くないが、感謝の気持ちをもって努力する姿は素 晴らしい。楽しく給食を食べている生徒は87.5%であった。	3.3				
特色あ る教 育の 推進	1	ふるさと教育の推 進	夏祭り太鼓等地域行事 や伝統に関わる生徒が8 5%以上	夏祭りの実行委員会に3年生が出席し、全員で準備や片付けも積極的に行なった。日頃より太鼓の練習を計画的に行 い、様々な場で発表を行なった。また、地域での太鼓の練習にも参加している。地域行事や伝統に関わる生徒は100%であった。	4.0	3.9	地域の夏祭りにも積極的に参加して いて、太鼓をたくましくは生き生きとしていて 素晴らしいと思います。 小学生の頃から地域との繋がりが中学生 になってからもより深くなり、協力する 力や地域のためにという力が自然と身に 付いてきていると思う。		
	2	併設型一貫教育 の推進	小学生と協力して合同 の行事に取り組める生 徒が85%以上	小・中合同の行事に意欲的に取り組み小学生をしっかりとリードすることができた。また、小学生に思いやりをもって 接したり、中学生として、やるべき事を意欲的に行なったりした。これにより協力して合同の行事に取り組める生徒は100%であった。	4.0				
	3	町一貫教育の充 実	中・中連携にしっかりと 取り組んでいる生徒が8 5%以上	計画的に高原中学校との連携を行い、合同の授業や総合的な学習の時間での活動等、中・中連携にしっかりと取り 組んでいる生徒は100%であった。統廃合に向けてどのような取組をすべきか検討する必要がある。	3.8				
総評	1	本年度の取組について	少人数であったために、思い通りの活動にならないこともあったでしょうが、できるだけ、様々なことを体験して欲しいという先生方の思いは伝わったと思いますし、生徒も楽しみながらもそれに応えていたと思います。						
	2	次年度への改善に向けて	さらに少ない人数となりますが、後中最後の卒業生は、自分たちだということを誇りにして、ラスト1年の中学校生活を送って欲しいと思いますし、先生方にも子どもたちと一緒に、思い出深い1年にしていただきたいと思います。そのためには地域で協力していきたいです。						